

編集後記

## 編集後記

SBI大学院大学 紀要編集委員会

細沼 諒芳 石川 秀樹 盧 曉斐

この度、「紀要」の第4号（2016年度版）ができ上がりました。ご執筆いただいた先生、修了生、編集作業や印刷・製本をご担当いただいた多くの方々に深く感謝いたします。

SBI大学院大学は、金融市場が急速にグローバル化し、かつ金融とテクノロジーの融合が本格化しつつある今こそ、フィンテックとグローバル金融市場を総合的に研究する拠点が必要と考え、『SBI大学院大学金融研究所』を開設しました。研究所理事長に竹中平蔵氏（元経済財政政策担当大臣・金融担当大臣）、顧問に五味廣文氏（元金融庁長官）、グローバル金融市場代表に山崎達雄氏（元財務省財務官）、所長に藤田勉教授（元シティグループ証券取締役副会長）、そして多くの有識者を研究員として迎え、すでに定期的に研究会を開催し、研究発表会も予定しています。そこで、今号ではテーマを「フィンテック」と設定しました。SBI大学院大学金融研究所の一端をご覧いただければ幸いです。

もちろん、道徳的価値を備えた次世代のリーダーを育成するという本学の目的はまったくぶれてはおりません。今回も教員に加えて、全国各地で活躍する修了生にも登場してもらいました。宮崎県からは、福祉施設を経営する竹井一馬氏と全国各地で地域の仕事づくり、起業・イノベーションの促進に取り組むNPO法人まちづくりGIFT代表理事の斎藤潤一氏、石川県からは地元食材を活かした新しい飲食店のビジネスモデルを追求する平田賢太郎氏からご寄稿いただきました。全国各地で活躍する本学の修了生の思いと行動が伝わってきます。彼らに共通することは、社会をよくするためには何を行うべきかという視点から事業に取り組んでいるということです。道徳的価値を備えた次世代のリーダーを育成するという本学の目的を修了生のみなさんが体現してくれており、嬉しい限りです。本学修了生の奮闘が地方を元気にし、日本を元気にしてくれるものと思います。

次号では、海外で活躍中の修了生・在校生も多いことから、海外からのご寄稿もお願いしようかと思案しております。みなさまからも、次号の企画について、ご意見、ご提案をいただくと幸いです。

2016年11月